

平成28年度予算

アナ： 「市長が語る 2016 三島」第1回の今日は、平成28年度予算について、お話を伺います。豊岡市長よろしくお祈りします。

市長： よろしくお祈りします。

アナ： 平成28年度の予算のうち、福祉や教育など、市役所の基本的な業務に関わる一般会計予算は356億7,000万円と伺っています。

では、予算を編成する上での基本方針はどのようなものだったのでしょうか。

市長： 平成28年度は、市制75周年を迎える記念すべき年であると同時に、地方創生としての「住むなら三島総合戦略」と「第4次三島市総合計画後期基本計画」の執行初年度でもあり、本市の掲げる将来都市像の実現に向けた重要な年となります。予算編成では、このことを十分に踏まえ、1つ目に「ガーデンシティが創り出す都市の品格、交流・にぎわいと活力溢れる産業の振興」、2つ目に「市民協働で取り組むスポーツ・スマートウェルネスが育む健幸と個性輝く教育・文化の創造」、そして最後に「コミュニティの絆で高める子育て・福祉の充実と自助・共助・公助が支え合う防災体制の強化」という3つの柱を掲げました。

アナ： それでは、3つの基本方針にはそれぞれどのような事業が予定されているのか、主なものを教えていただきたいのですが、まず1つ目の柱「ガーデンシティが創り出す都市の品格、交流・にぎわいと活力溢れる産業の振興」についてお願いします。

市長： まず、楽寿園から中心市街地を結ぶ蓮沼川の修景整備を行うほか、水辺景観ルートの中継点となります（仮称）中郷温水池公園の継続整備などを実施いたします。

また、谷田幸原線をはじめとする都市計画街路の整備や安全で歩きやすい一般市道の整備を進めてまいります。

そして、5月には毎年多くの市民の皆様や観光客の方に訪れていただいております「みしま花のまちフェア」が第4回目を迎え、今回は、併せて「東京ディズニーシースペシャルパレード」も行われます。これは東京ディズニーシー開園15周年を記念して、全国15の都市で行われるもので三島市がその1つに選ばれました。是非多くの皆様にお越しいただきたいと思っております。

アナ： 本当に楽しみです。次に、2つ目の柱「市民協働で取り組むスポーツ・スマートウェルネスが育む健幸と個性輝く教育・文化の創造」には、どのような事業があるのでしょうか。

市長： ここでは、長伏グラウンドのスコアボードや市民体育館のトイレの改修など市民の皆様がスポーツを通じて健康と生きがいを実感していただけるよう、市内スポーツ施設の環境整備を実施してまいります。

また、北中学校南校舎の改築をはじめ、小学校に続き、新たに中学校全クラスに電子黒板とデジタル教科書を導入し、教育環境の充実を図ってまいります。

さらに、文化の振興では、市制 75 周年と文化振興基本計画の策定を記念し「みしまの文化百花繚乱」と題し、年間を通して様々な文化事業を開催し、市民の皆様や三島への来訪者が身近な場所で質の高い文化に触れられる機会の創出に努めてまいります。

アナ： 3つ目の柱「コミュニティの絆で高める子育て・福祉の充実と自助・共助・公助が支え合う防災体制の強化」では、子育て支援策が充実するようですね。

市長： はい、新たに2つの民間保育園の移転・拡張整備を支援して、利用定員を90人増やすことで、待機児童ゼロに努めるとともに、公立保育園におきましても、時間延長保育、一時預り保育など、保護者の生活形態の多様化に対応した保育環境の充実を推進してまいります。

また、従来、保育園保育料の算定におきましては、0歳から小学校就学前の保育園に通園している兄弟姉妹がいる場合、年長児童から順に2人目は半額、3人目以降は無料としていましたが、本年4月からは、通園している児童の人数に関わらず、同一生計下に兄弟姉妹がいれば同様の扱いとさせていただきます。また、所得制限を撤廃し、経済的負担を軽減するなど、新たな支援施策を展開し、若い世代から選ばれるまちを目指してまいります。

アナ： ありがとうございます。「花と緑が美しいまち」、「健康で幸せなまち」、「子育てしやすく、災害に強いまち」を目指し、さまざまな事業が盛り込まれていることがよくわかりました。これからも、市長が掲げる「美しく品格のあるまちづくり」、「人もまちも産業までも健幸を実感できるまちづくり」を是非期待しております。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございます。